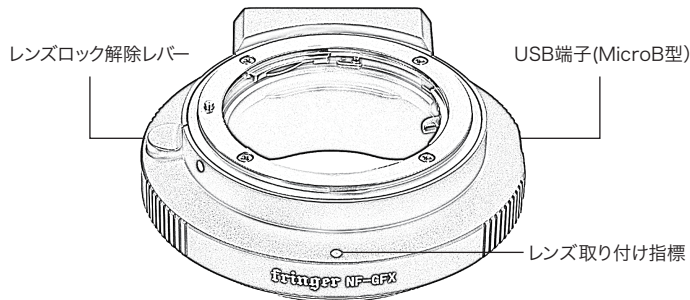


このたびはマウントアダプターをお求めいただき、まことにありがとうございます。本製品を安全にお取り扱い頂くため、ご使用前に取扱説明書をよくお読みになりご使用ください。また、この説明書はお読みになった後、いつでもご覧になれるよう大切に保管して下さい。

FR-NFTG1

ニコンマウントレンズを富士フィルムGFXシリーズのカメラに装着する、オートフォーカス対応の電子マウントアダプターです。

[各部の名称]



※富士フィルムのカメラは、絞り優先(A)およびプログラム(P)モードに設定した場合、液晶を適正な明るさで表示させるため、被写体の明るさに応じてレンズの絞り羽が動作します。カメラを傾ける等でレンズを透過する光量が変化すると、その度に絞り羽が動き、動作音が純正レンズより大きく聞こえ、液晶画面がわずかに点滅する場合があります。動作音や液晶画面の点滅が気になる場合は、撮影モードをマニュアル(M)モードに切り替えて使用してください。

【対応レンズ】

本製品はニコン/NIKKORおよびシグマ、タムロンなどのレンズメーカー製のFマウント規格のレンズに対応しております。

機能	種類	AFレンズ		MFLレンズ
		CPUレンズ(モーター内蔵)	CPUレンズ(モーター非内蔵)	非CPUレンズ
AF撮影(※1)		○	×	×
絞りの電子制御		○	○	×
レンズ補正(※2)		○	×	×
Exifデータ記録(※1)		○	○	×

※1: 「位相差AF」の対応および「Exifへの正確なレンズ名の記録」は、Fringer公式サイト記載のデータ最適化済みレンズで有効。

※2: 倍率色収差(横色収差LaCA)

コントラストの高い画像のエッジで発生する「カラーフリッジ」を自動補正します。アダプターにレンズ補正用データを内蔵し、装着したレンズの補正情報が自動的にカメラに転送されます。(下記URL「Lenses tested and optimized」記載のレンズで有効)

周辺光量、歪曲収差の自動補正

中判カメラにフルサイズ用レンズ装着した際に発生しやすい「ケラレ」と「歪み」を自動補正します。(下記URL「vignetting and distortion correction」記載のレンズで有効)

Fringer公式サイトより「動作確認・データ最適化済みレンズ」が参照できます。

<https://www.fringeradaptor.com/nikon-f-to-fujifilm-gfx#3>

※レンズの動作確認結果は、必ずしもすべての性能を保証するものではありません。



CPUレンズ (モーター内蔵) モーター内蔵式レンズ(AF-S、AF-P NIKKORおよびシグマ、タムロンなど)とのご使用で、AE/AFの撮影が可能になります。
※オートフォーカスで使用する際、ピントが甘くなることがあります。ピントが合いにくい場合は、カメラのAFエリアモードをシングルポイントAFに設定し中央のフォーカスポイントで合わせるか、マニュアルフォーカスでピント合わせを行ってください。

CPUレンズ (モーター非内蔵) AFモーター非内蔵のレンズ(Dタイプ、Gタイプなど)をご使用の場合、AFは動作しませんが、絞りはカメラ本体よりコントロールできます。プログラム(P)、絞り優先(A)、シャッター優先(S)モードでのAE撮影が可能です。
※絞りリングのあるCPUレンズをマウントアダプターに取り付ける場合は、最小絞り(最大F値)にして取り付けてください。

非CPUレンズ 絞りリングのある非CPUレンズに使用する場合、ピント合わせはマニュアルフォーカス、絞りはレンズ側で設定、撮影モード設定は絞り優先(A)またはマニュアル(M)で撮影してください。

Fringer公式サイトに記載のないレンズを使用する場合の注意点

- ・コントラストAFでの使用になります。
- ・起動時にレンズの認識・データ較正を行うため、液晶画面が表示されるまで時間がかかります。レンズを触らずお待ちください。
- ・レンズの認識・データ較正中に、ピントリングやスイッチなどの操作を行うと、AFが正常に機能しない場合があります。その場合は、再度装着し直してご使用ください。
- ・マニュアルフォーカス(MF)への切り替え、またはレンズ側の手ブレ補正機構をオフにすることで使用できる場合がございますが、最終的にはお客様の判断でご利用下さいますようお願いいたします。

※レンズによっては動作しない、あるいは動作が不安定な場合がございます。レンズとの互換性を向上させるため、ファームウェアの更新をお待ちください。
株式会社焦点工房のサポートページ(www.stkb.co.jp/support.html)

【フォーマットモードについて】

本製品使用時、カメラ側の撮影設定が「35mmフォーマットモード[AUTO]」の場合は、35mmフォーマットが自動的に適用されます。ラージフォーマットモードで撮影したい場合は、設定を切り替えて使用してください。

※装着するレンズにより、画像周辺部のケラレ等が発生する場合があります。あらかじめご了承ください。

【手ブレ補正機能について】

本製品はレンズ内の手ブレ補正機構(ニコン「VR」、シグマ「OS」、タムロン「VC」)およびカメラボディ内の手ブレ補正機構(IBIS)に対応しております。ボディ内手ブレ補正機構搭載機種(GFX100,GFX100S,GFX50S IIなど)に使用する場合、ボディ内手ブレ補正を使用することをおすすめします。

手ブレ補正搭載レンズをボディ内手ブレ補正 (IBIS) 搭載機種 (GFX100,GFX100S,GFX50S IIなど) で使用した場合

- ・レンズ側の手ブレ補正スイッチON → 自動でIBISをOFF
- ・レンズ側の手ブレ補正スイッチOFF → 自動でIBISをON

※手ブレ補正搭載レンズを使用する際は、カメラ本体のメニューから「ブレ防止モード」を「撮影時」に設定することをおすすめします。「ブレ防止モード」を「常時」に設定すると消費電力が多くなります。また、電源オフおよび写真再生時に手ブレ補正機構を復元する動作により、カメラの反応が遅れる場合があります。

【ご使用になる前の注意点とお願い】

- ・レンズの個体差・経年変化・損傷による形状の変化等により、装着感(固い、緩い、若干のあそび等)が通常と異なる場合や、装着できない場合があります。
- ・位相差AF非搭載機種 (GFX50S II, GFX50S, GFX50R) では、AF-Sモードの使用をお勧めします。
- ・動画撮影でのAF動作は、カメラ本体のAF性能に依存します。また、位相差AF非搭載機種では動画撮影時にAFを使用することはできません。
- ・通電時のアダプターやレンズの取り外しは、故障の原因になりますのでおやめ下さい。
- ・本品を質量が1300gを超えるレンズに装着して使用する場合は、カメラ本体とレンズの両方を支えながらご使用ください。カメラだけを持つことや、カメラストラップを使用した撮影は、マウント部の変形や破損の原因となりますのでおやめください。
- ・電子接点は汚さないようご注意ください。目視できない僅かな汚れでも動作不良の原因となります。
- ・マウントアダプターを水にぬらすと、部品がサビつくなどして故障の原因になりますのでご注意ください。
- ・高温になる場所に置かないでください。極端に温度が高い環境では、機材が故障したり変形するおそれがあります。
- ・使用中にフリーズしたときには、一旦カメラの電源をOFFにし、アダプターとレンズを取り外してください。取り外し後は、しばらく時間を置いてからアダプターとレンズを再度装着し、カメラの電源をONにしてください。